

迦葉山三世天山見亮大和尚開創 五百年の古寺 利根沼田横道三十三観音霊場 十八番札所

石尊山 観音寺

〒378-0074 群馬県沼田市下発知町332

T E L : 0 2 7 8 - 2 3 - 9 4 1 0

E-mail : info@kan-nonji.com

U R L : <http://www.kan-nonji.com>

— 第 24 号 —

2022年1月1日 発行

Kannon-ji Temple

表紙／中島裕明 様



令和四年ごあいさつ

住職 五十木 晃 健
いかるぎ こうけん

私が住職に就任した当時の観音寺は、ひっそりと佇む山寺でした。それが十年かけて、県内外から参拝者が行き交う明るい空間へと変わったのです。観音寺がここまで育ったのは、檀家様や地域の方々のお力はもちろん、イベントの協力者、出演者や参加者の皆様の存在が欠かせません。

ところが新型コロナが流行したことで、イベントは「たくさんの人と楽しむもの」から、「密を作り出し、人の命を奪う可能性があるもの」へと変わってしまったのです。観音寺でも二〇二〇年以降すべてのイベントを開催断念し、御朱印を求める方々の足も落ち着きました。また、大変残念なことに、イベント開催に協力してくれていた戸神山の登山仲間も二人亡くなりました。感染防止の観点から面会が制限されているため、最期にお会いすること

も叶わず、心残りばかりです。

こうした日々を過ごすなかで、皆様の健康を案じるとともに「コロナ禍が収束した後にイベントを開催したとして、以前のように足を運んでいただけるのだろうか」という不安が何度もよぎりました。

そこで、祈りの気持ちを込めて、境内整備を進めることにしました。その一つが音響設備。素晴らしいミュージシャンたちが奏でる音色が境内全域に響くように、屋外にスピーカーを数台設置しました。もう一つは、風神、雷神、布袋尊、そして烏天狗の石仏を建立したことです。私の背丈を上回るほど大きいため、境内が一気に賑やかになりました。

さらに魅力を増した観音寺に皆様をお迎えする日が来るのを、心から楽しみにしています。一方で、昨年は新聞やテレビで紹介いただく機会が多い年



子持山

戸神山(石尊山)

でもありました。

一月にNHKの「ほっとぐんま630」で戸神山が紹介された際、登山仲間に後押しいただき、私も観音寺の住職として出演しました。放送後には、下ろし立ての登山服を着た馴染みの顔から「テレビ見たよ」と声を掛けていただく機会が多かったことが印象に残っています。地域に新しい登山仲間が増えたことが、心の底から嬉しいです。

九月には、朝日新聞群馬版の取材を受け、住職になった経緯やこれまでの歩みについて記事にさせていただきました。それがYahoo!ニュースにも

掲載されたことで、ネット上でも好意的なコメントが数多く寄せられたのです。このことを

きっかけに、十月には宗教専門紙・文化時報の一面で、十一月には読売新聞関西版の夕刊でも観音寺を取り上げていただきました。直接来ていただくことが難しい情勢下で、新たに観音寺を知るきっかけを作ってくれたことを、とても有難く思います。

新しい縁が結ばれつつある予感を覚えながら、観音寺にお越しいただいた皆様がやすらぐ時間を過ごせるよう、引き続き精進してまいります。



ご寄付御礼

画家の中島裕明様より、観音寺の境内を描いた絵画を奉納していただきました。
四季折々の表情を見せる観音寺を水彩、油彩とで表現していただき、大変嬉しく思います。
中島様は群馬県内で幅広く活躍されており、国際造形連盟会員、日本美術家連盟会員などに
所属され、太田市を中心に各地で個展を開催されるなど精力的に作品を発表されています。
描いて頂いた境内や本堂の絵画はしばらく本堂内に展示させていただきます。観音寺の歴
史の二ページを飾る良い記念になりました。ありがとうございました。



夏の観音寺(油彩)



本堂を描く(水彩)



観音寺・冬(水彩)



観音寺・本堂(油彩)



観音寺・夏(水彩)



石尊山 登参道(油彩)



春の観音寺(油彩)



観音寺・秋(水彩)



観音寺・春(水彩)

根岸怜那様より石仏を 奉納していただきました。

根岸怜那様より、奉納された可愛らしいお地藏様は、境内にご
ざいます。また、大好きなおばあちゃんとの思い出を綴った文章も
いただきました。ここに紹介させて頂きます。

おばあちゃんの思い出

おばあちゃん家の居間へ入
ると、今でもおばあちゃんの姿が
目に浮かびます。

いつも、背中を丸めて、猫のた
まを膝に乗せ、耳が遠いので大
きめの音量でテレビを見ていま
した。私がお母さんが声を掛け
けるとパツと顔を上げて、目を
輝かせ、「ああ」と嬉しそうな声
をあげてくれたものです。私は
仏壇にお線香をあげておじい
ちゃんとお先祖様に挨拶をし
た後、猫のたまの頭を撫でなが
ら、おばあちゃんの、いつ群馬に
帰って来たのかとか、いつまでい
るのかといった質問に答えま
す。

それらのやりとりを通して、
群馬に帰省してきたことが改

めて実感され、懐かしい量の匂
いと元氣な家族の姿にほっとす
るのです。

おばあちゃんの手料理はいつ
も温かく食卓を彩りました。

具だくさんのオムレツや春巻
き、リングゴのスライスが入ったポ
テトサラダ、大きくて食べ応え
のあるシウマイなど、私の好物
を挙げたらきりがありません。
中でも私の一番のお気に入り
は、シイタケやタマネギ、豚肉
などが入った卵とじでした。昔、
料理の手伝いをしたとき、「卵
を混ぜすぎない方がおいしくで
きるんだよ。」とコツを教えて
くれました。

ですが、おばあちゃんの味には、
いつまでも追いつける気がしま
せん。

おばあちゃんをよく、「しっか

り食べるのが一番大事。」と言っ
ていました。おばあちゃんの手
書きのレシビ集には、そんな家
族を想う気持ちとおいしい料
理の秘訣がたくさん詰め込ま
れています。

それから、おばあちゃんはい
つも私に、多すぎるくらいのお
通費を渡してくれました。「こ
んなに掛からないよ。」と私が
言うと、「そうかい。まあ持つて
おきな。」と穏やかに笑ってい
ました。おばあちゃんは、私がおい
しいものを食べたり、好きな物
を買ったりできるように、そし
て何かあったときに困らないよ
うに、多めにお金を持たせてく
れていたんだろうと思います。
そんなおばあちゃんの気持ち
がこめられたお金を、普段の生
活の中で使ってしまうのはもった
いなくて、「何かの機会のため
に。」と思い取っておいていま
した。

おばあちゃんが亡くなった
後、「おばあちゃんに貰ったお小
遣いを取っておいてあるんだけ
ど、もう使えないや。」とお母さ
んに話したところ、「お坊さん

に寄進したら？」という提案を
されました。それは素晴らしい
考えだと思い、私はすぐにお坊
さんへ寄進することに決めまし
た。

おばあちゃんがお坊さんにお
世話になるようになったのは、
おじいちゃんの仕事がきっかけ
でした。気さくで話しやすく、
温厚なお坊さんをおばあちゃん
はとても信頼しており、毎年

お盆の時期にはお坊さんと話
せるのを楽しみにしていまし
た。そんなお坊さんに寄進する
のであれば、おばあちゃんも喜
ぶだろうと思ったのです。そし

て、お坊さんから、おばあちゃん
と私の気持ちが長く残るよ
うにとご提案いただき、お地藏
さまを寄進させて頂きました。

お地藏さまの優しい表情を
見ていると、記憶の中のおばあ
ちゃんの笑顔と重なります。

おばあちゃんに授けていただ
いた戒名は梅香妙黎大姉で
す。

毎年、梅の花が香る時期に
は、おばあちゃんとの思い出が、
格別鮮やかに私の心によみがえ
ることでしょう。



奉納していただいたお地藏様

故横澤実峰様ご家族より 掛軸を奉納して頂ました

故横澤実峰様のご家族様より「素性法師(そせいほうし)」と「僧正遍昭(そうじょうへんじょう)」を実峰様が描いた掛軸を奉納して頂ました。

だ三十六歌仙の一人として有名なで、遍昭は平安時代の時代の僧侶であり歌人で、やはり三十六歌仙にあげられます。素晴らしい掛軸を奉納していただき心から感謝です。



北爪茂雄様より 掃除道具一式が寄付

前橋市の北爪茂雄様より、境内清掃に使用する「掃除道具一式」を寄付して頂ました。今まで使っていた竹ぼうきや熊手は痛みが激しかったので大変助かります。

また、今までより一層境内整備に注力していこうと背中を押された気持ちです。寄付していただいた掃除道具を見るたびに身が引き締まります。



沼田准看護学校の 生徒さんへ法話

四月十二日(月)曜日、午後三時から沼田准看護学校の生徒さん達二十六名と先生二名の方々に観音寺本堂で法話をさせて頂きました。手指消毒をしつかりして、全員マスクをしての法話です。戸神山から下山後の法話ですが、誰一人として疲れた顔を見せず、これらの医療を担っていく方々の頼もしさを感じました。



うすねワクワクスクールの 子供達の笑顔溢れる

七月三十日(金)のよく晴れた日に「うすねワクワクスクール」の皆さんが久しぶりに来山しました。

山寺に子供たちの声が戻ってきました。コロナ禍の前までは毎月のように子供たちが来山して賑わっていたのですが、やはり元気な声を聞くと力をもらえます。坐禅や写仏、本堂清掃などを体験しました。



令和三年

書き初め大会

池田小学校で毎年行われている「大書き初め」を行いました。体育館の中に子供たちが集まり、一筆一筆思いを込めて書きあげます。

一月十五日(金)に池田小学校で「大書き初め」を行いました。六年生の児童一人ひとりが一筆ずつ書きあげる文字は「希望の朝」。

このコロナ禍が早くあける

ことを願っています。

毎年のことながら、子供たちの書きあげる書は有名書家のものと見間違うほどのできで、心を打つ迫力があります。



▲池田小学校大書き初め

朝日新聞と文化時報、読売新聞に

取り上げていただきました

九月二十一日(火)の朝日新聞の朝刊と、十月二十五日(月)の文化時報の二面。また、十一月五日(金)の読売新聞(関西地区)のみの夕刊に取り上げて頂きました。

朝日新聞は当初御朱印の紹介のみで取材に訪れていたのですが、話をするうちに記事内容が大きく代わり私の人生の話が多くなりました。また、記事はYahoo!ニュースにもなり大きな反響をよび、お問い合わせも多く、私自身も戸惑うばかりでした。メディアはすごいです。

また、文化時報は京都で発行している宗教専門誌で、一面前面に取り上げていただき、こちらも大変名誉なことです。



▲文化時報記事



▲朝日新聞記事▲

新年度役員のご紹介

総代長 阿部 三郎(下発知)
 総代 木樽 保夫(戸 神)
 総代 松井 敦夫(下発知)
 世話人 尾身 広志(下発知)
 宮下 君子(下発知)
 金子 陽一(戸 神)
 吉澤 民枝(戸 神)
 會計 金子民之介(戸 神)
 書記 角田二郎(下発知)

令和三年 ご寄付・ご奉仕お礼

境内草むしり・本堂清掃
 障害福祉サービス事業所ア
 ルモニ殿

絵画奉納 中島 裕明殿
 石仏奉納 根岸 怜那殿
 掛け軸奉納 横澤 教匡殿
 掃除道具一式寄付
 ドローン撮影 山口 邦夫殿



お借り致しました

道路拡張土地 佐藤 富二殿
 案内板・のぼり旗設置場所 阿部 直次殿
 松井 順子殿 松井 隆殿
 松井 和幸殿 太田 延夫殿
 沼北自動車殿 関上 和寿殿
 松井 康治殿 下発 知町
 樹木葬用道路用地 松井 里美殿

その他、地域・檀信徒の皆様にはご協力頂きありがとうございました。紙上より厚く御礼申し上げます。

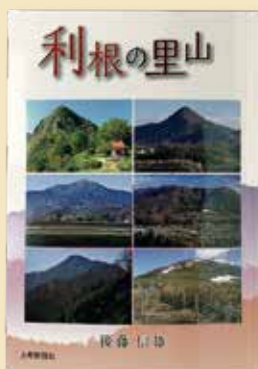
観音寺年間予定

一月三日……………年頭廻礼
 五月八日……………花まつり
 八月上旬……………境内清掃
 八月十六日……………お盆施食会
 中秋の名月前後…観月音

利根の里山が出版

後藤信雄様(檀家)が執筆された「利根の里山」が、上毛新聞社より令和三年十一月に出版されました。

後藤様は「山の本」に記事を投稿され、戸神山(石尊山)や観音寺を紹介してくださっていて、日頃から大変感謝しています。



新作御朱印帳が完成

桐生市の有限会社稲山様のご協力により刺繍の御朱印帳を五種類制作いたしました。

絵柄は「達磨大師」です。私の墨絵の中でもっとも得意とする達磨絵ですが、何度も描き直しようやく出来上がった元絵を、稲山様に刺繍御朱印帳として仕上げていただきました。

合計六十冊制作致しました
 が既に完売致しました。

